

赤外線サーモグラフィ装置



設置 年度	2006年度
型 式	TH9100WL
製 造 所	NEC三栄
仕 様	温度範囲：高温レンジ TH91-392で可 (00～2000℃) 画像入力：標準でレンズ部に搭載41万画素 画像出力：TH91-702 (ソフト) で可 画素：320 (H) ×240 (V) ドット
用 途	耐火物の重要な特性である耐熱スポール性を調べるため、試料表面の温度分布をこの装置で測定し定量化する。

事例紹介

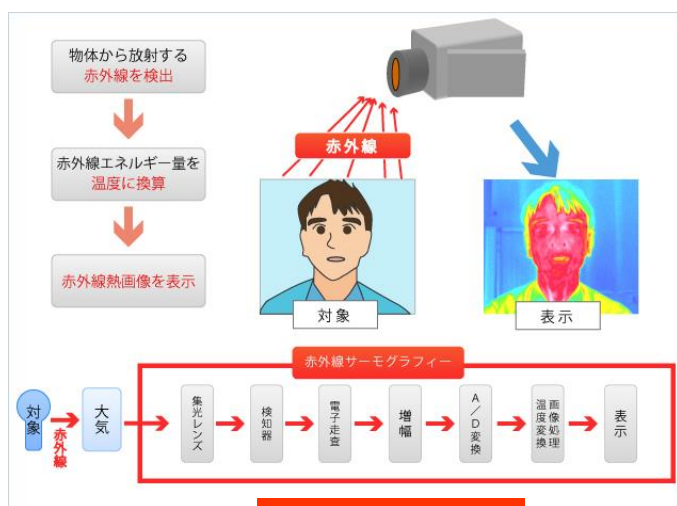
出典 一般社団法人日本赤外線サーモグラフィ協会 HPより

赤外線サーモグラフィの定義

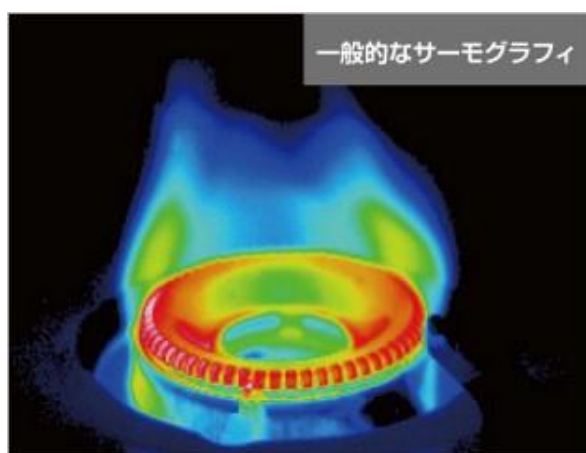
赤外線サーモグラフィは、対象物から出ている赤外線放射エネルギーを検出し、見かけの温度に変換して、温度分布を画像表示する装置あるいはその方法のことをいいます。

赤外線サーモグラフィのメリット

- (1) 広い範囲の表面温度の分布を相対的に比較できる。
- (2) 動いているものや、危険で近づけないものでも、簡単に温度計測できる。
- (3) 微小物体でも温度を乱すことなく温度計測できる。
- (4) 食品、薬品、化学製品などでも衛生的に温度計測できる。
- (5) 温度変化の激しい物や、短時間の現象でも温度計測ができる。



測定原理



ガスコンロの例